

令和8年度 第1回銚子市子ども・子育て会議 概要

開催日時	令和8年6月30日（火） 午後1時30分から午後3時25分まで
開催場所	銚子市勤労コミュニティセンター 2階ホール
出席者	14名 加田純二会長、小関宏昌副会長、澤中光里委員、今津梨紗委員、宮内奈穂子委員、石毛敦子委員、椎名桃子委員、平幡照正委員、石橋誠行委員、石井真菜委員、石井めぐ美委員、宮内大輔委員、石毛良美委員、浅野祐一委員
欠席者	なし
事務局	8名 子育て支援課 谷杉課長、小林課長補佐、鈴木主査、小鷲副主査 学校教育課 佐原室長 健康づくり課 山田室長、東福寺室長、神山主任保健師
議題	【開会前】委員委嘱状交付式 1. 開会 2. 議事 (1) 教育・保育の現状の報告について (2) 放課後児童クラブの現状について (3) 公立保育所再編について (4) その他 3. 閉会

1. 開会

会長に加田純二委員が、副会長に小関宏昌委員がそれぞれ選出された。

2. 議事

(1) 教育・保育の現状の報告について

(資料1)「保育所等入園・入所児童数」

事務局より説明

(質疑応答)

なし

(2) 放課後児童クラブの現状について

(資料2)「放課後児童クラブ入所児童数」

事務局より説明

(質疑応答)

委 員 利根かもめ放課後児童クラブの予定定員は何人か。また、豊里放課後児童クラブの移設に関して、教室の広さ、人数、定員を教えてください。現在の定員40人に対して待機児童を含めて何名を受け入れているのか。

事務局 利根かもめ放課後児童クラブの定員は40人を予定している。豊里放課後児童クラブの移設は、校舎内の教室を2つお借りすることができ、現在の豊里地区コミュニティセンターの定員40人に対し60人に増やす予定である。また、豊里放課後児童クラブの受け入れ人数は、令和8年5月1日時点で53人の受け入れを行っている。

議 長 豊里放課後児童クラブでは、入所を希望していたみなさんが入所できたのか。

事務局 2月に開催した子ども・子育て会議において、14名が入れないと報告したが、その後、学校と協議し、7月から学校の校舎内への移設が可能となった。それまでの期間についても、入所を希望した方は暫定的に豊里地区コミュニティセンターで受入れをすることとなったので、4月1日時点で待機児童はいなかった。

議 長 市全体で待機児童はいないのか？

事務局 市全体でも待機児童はいない。

(3) 公立保育所再編について

(資料3-1)「公立保育所再編について」

(資料3-2)「銚子市公立保育所再編方針」

(資料3-3)「銚子市内保育所等配置図」

(資料3-4)「各保育所等間の距離」

(資料3-5)「小学校区別公立保育所入所児童数」

(資料3-6)「各公立保育所の現状、各公立保育所を大規模改修する場合の条件等」

(資料3-7)「新設した場合の試算」

事務局より説明

(質疑応答)

【建設地とアクセスについて】

委 員 後飯町公園のどこまでを敷地とするのか。周辺道路が狭いが、より広い交番側を出入口にできないか？

事務局 都市公園法の制限により、公園の3分の1（約3,000㎡）を保育所敷地として占用する。道路拡幅は困難だが、現在の駐車場側を出入口とする想定でいる。交番側からのアクセスは施設配置のバランス上、現時点では難しいと考える。

委 員 自分の子どもが第四保育所に通っているが、案で出ている後飯町公園となると、西側の住民は利用しづらくなる。市はそれを「しょうがない」と考えているのか。

事務局 第四保育所の場所は土地も道路も狭く適さない。現状、豊里台から第二保育所を利用している方もおり、市全体の配置バランスを優先した考えである。

【児童数推計と定員設定】

- 委 員 120人定員に向けた入所人数の調整について、来年度の0歳児の入所予定人数を教えてほしい。
- 事務局 統合後の0歳児の定員数は8か9人となる見込みなので、まだ案の段階だが、令和9年度の0歳児は第二保育所、第四保育所ともに5人ずつの計10人を考えている。
- 委 員 出生数推計が楽観的すぎる。今後、推計と実際の児童数で乖離が出た場合に定員の再調整は可能か？
- 事務局 将来推計で広く使われているコーホート変化率を用いて推計している。推計は5年ごとに子ども・子育て支援事業計画の策定時に見直す。令和12年度のスタートは、120人だが、将来的に状況を見ながら減少させていくことは考えられる。
- 委 員 生まれた数だけでなく、今後の傾向を把握するためには「年代別の出生率」が重要である。次回の会議でもよいのでデータを出してほしい。
- 事務局 出せるかどうかを含めて確認させていただく。
- 委 員 120人という定員設定は、今後4年間の短い推計に基づいたものであり、少し甘い印象がある。

【利用者の視点と公園機能】

- 委 員 新設案は、在園児がそのまま継続でき、新設候補地は駅やバス停にも近いため安心。一方で、後飯町公園は子どもたちの貴重な遊び場。規模縮小により遊び場が減らないか不安である。
- 事務局 公園機能を低下させないように配慮する。現在の第二保育所の跡地を公園化する案も含め、関係課と検討したい。

【財政負担と再編の必要性への懐疑論】

- 委 員 出生数が100人程度の現状で、何億もかけて新設する必要があるのか。解体費用もかかる中、私立保育園への補助金等で対応できないのか。
- 委 員 市全体の公共施設再編計画（庁舎やコミュニティセンター等）のタイミングに合わせ、公立のあり方自体を検討すべきではないか。
- 委 員 学校現場でも特別支援学級が急増し教室が不足しており、市全体の施設利用をトータルで考えるべきだ。また、資材高騰の中、この予算で本当に建設可能なのか。
- 事務局 提示した金額は旭市の事例に基づき一定の上昇率（5%増）を見込んでいる。

【公立保育所の意義と現場の切実さ】

- 委 員 保護者の意見として、公立は金銭的負担が少なく、フルタイム共働き世帯には行事の簡素さも非常にありがたい。「最後の行き着く場所（セーフティーネット）」として1か所は残すべきと考える。また、公立保育所で働く立場としては、建物の不具合を保育士が修繕しながら使っており限界。先延ばしせず早急に建て替えてほしい。

【サービス向上と広報】

- 委 員 市の子育て広場で、私立保育園等へのマッチング機能を持たせてはどうか。また、SNSを活用したアピールが他市に比べ不足している。
- 事務局 現在、市ホームページや公式LINEが多い。登録者数が多い公式Instagramや新たに始まったポータルサイト「ちょうしめっけ!!」を活用し、情報発信の強化に努めていく。

3. 閉会

- 事務局 次回の第2回子ども・子育て会議は8月18日（火）を予定している。時間・場所が決まったら、7月中旬に通知する。